

平成26年度 宮臨技第2回常任理事会会議録

日時：平成26年7月11日（金） 19：00～21：30

場所：宮崎県立宮崎病院 2F 中会議室

参加 常任理事： 日高（会長） 神谷（副会長） 守田（副会長） 尾方（会計） 花牟禮（事務局）

神田（組織） 山口（組織） ~~竹ノ内（学術）~~ 寺原（学術） 小川（学術） 奥野（庶務） 久方（庶務）

議事録：花牟禮

次第

1. 開会
2. 平成26年第1回常任理事会議事録 第1回常任理事・地区理事・研究班長会議議事録 《承認》
3. 報告事項

日高会長

6月21日（土）九州支部幹事会・支部内連絡会議が開催された。内容等はメールで配付した。

その中で、津曲前会長が日臨技の医療政策ワーキンググループに参加されるとの話があった。

全国検査と健康展については、6月27日までに事業計画書・予算書を日臨技に報告するようにとのことであったので報告した。長崎県がメイン会場になる。

沖縄県で開催される日臨技九州支部医学検査学会は一般演題138題の応募があり本県からも10題の応募があった。来年度は佐賀県担当で第64回日本医学検査学会、また、鹿児島県で日臨技九州支部医学検査学会（第50回）が開催されるので、こちらの演題も多数の応募をお願いしますとのことであった。

みやざき健康ふくしまつりは、第1回の委員会があり、宮崎地区窪理事が出席した。

糖尿病宿泊研修会がサンクマールで開催され無事終了した。8月の小児サマーキャンプは、平和台病院の吉田技師の協力を経て参加協力する予定である。

守田副会長

九州支部会議の会場費を各県1万円ずつ負担する。また、九州支部の事務費用を会員1名当たり10円各県が負担することになった。

事務局

行事・文書について（別紙参照）

第1回常任理事会以降に、14-26～14-128 まで103件の文書等を受領した。その中で平成26年度全国検査と健康展については、事業計画書と予算書を日臨技へ回答した。平成26年度宮崎県公衆衛生功労者表彰は、健康づくり協会の黒田るい子技師を推薦した。宮崎県慢性腎不全対策連絡協議会委員は日高会長を推薦、プライマリ・ケア研究会役員は日高会長を推薦する。公文書の発送は14件であった。

常任理事メーリングリスト、常任理事・地区理事・研究班長メーリングリストの運用を開始した。

広告・賛助会員の申込状況を報告した。昨年度の賛助会員で今年申込がないメーカーが8社ある。

理事は一般社団法人の登記をしてあるので、氏名の変更があった場合は、変更登記が必要になる。

代表理事の日高会長は、住所も登記されているので、住所変更も変更登記が必要になる。

庶務（別紙参照）

会員の推移（7月11日現在） 継続391名 新入会25名 退会3名

平成26年度会費未入者7名・・・いずれも日臨技の処理まちの状態

会計（後日メールで報告）

組織（別紙参照）

第33回宮崎県糖尿病宿泊講習会の企画書・予算書・報告書、平成26年度全国検査と健康展、第1回延岡地区研修会、第1回児湯地区研修会の企画書・予算書を承認した。

地区活動進捗状況（年間計画等）について、現時点での状況を報告。

学術（別紙参照）

年間研修会予定について

現状で、日臨技の生涯教育助成金の対象となりそうな企画は、血液研究班（1）、生物化学（2）、生理（2）、精度管理事業（2：予定）である。

県外から講師をお願いする内容が企画できると思うので、日臨技生涯教育助成金対象となる研修会をもっと増やすようにお願いする。

日臨技九州支部卒後教育セミナー「第7回生物化学部門・遺伝子部門合同研修会」について

日高会長に挨拶をお願いしたい。宿泊・懇親会費の領収証は宮臨技会長名で準備をお願いしたい。

その他

博多シンポジウムについて

日本検査血液学会九州支部が立ち上がり、日本検査血液学会九州支部の主催で行う予定であったが、今年度は主催：日臨技九州支部、担当：福岡県臨床衛生検査技師会血液研究班となりそうである。

今後は、日本検査血液学会九州支部と日臨技九州支部のどちらの主催になるか、明確になっていない。

4. 審議事項

1) 表彰関連について

最近の表彰推薦者について報告、今後の方針を協議した。

対象者となる方がいれば、神谷副会長まで提案してもらう。

2) 平成26年度研修計画について

各研究班長、各地区理事と相談して、日臨技生涯教育助成金対象の研修会を増やす。

3) 公益事業について

第33回宮崎県糖尿病宿泊講習会が、平成26年6月14日・15日に終了した。実務員の交通費・日当については、内容等を考慮し承認した。

平成26年8月6日～10日に綾で、小児糖尿病サマーキャンプが開催されるので、宮臨技から5名を派遣する。

公益目的支出計画として宮崎県へ提出した書類を確認する。

4) 宮臨技会誌について

第1稿の投げ込みが終わった。賛助会員の最終確認を行い、7月末までの完成を目指す。

5) 全国検査と健康展について

頸動脈エコー等を実施予定である。今後内容等を詰めていく。

6) 宮臨技の備品等について

庶務用パソコンが非常に動作が遅く作業に困っている。事務所に理事用パソコンがあるがWindows

vistaでこれもいつまで使用できるかわからないので、購入できるか検討する。

7) 宮臨技メール会員について

情報を早く会員に伝えるために会報で募集した。引き続き募集する。

会報のペーパーレスについては、会員数1名の施設あるいは自宅会員で希望があれば検討する。

8) 日臨技技師連盟への加入について

宮臨技の加入数が少ないので、強制ではないが常任理事は率先して加入する。

9) プライマリ・ケア研究会役員、CKD対策連絡協議会委員は、日高会長で承認。

10) メーリングリストの運用について

返信が必要かどうかを明確にする。

案内、報告等については、確認しました等の返信は必要ない。

意見を求めるとき、協議が必要ときなどは、タイトルの最初に（要承認）（要回答）を付ける。

メーリングリストで届いたメールの返信を使い、違う内容をそのままメールしない（タイトルと内容が異なると非常に分かりにくい）

5. 次回理事会日程

平成26年9月に開催予定。詳細はメールで案内する。